

# Q. 夏まつり実行委員会の見直しは



おかじま つよし  
岡島 剛 議員

OKAJIMA Tsuyoshi

# A. 体制強化を検討する

二十歳の集い

議案 PICKUP

一般質問

委員会視察

「とよやまDEないと」については、台風の影響やコロナ禍などにより中止の期間が続き、令和3年度はオンライン開催、令和4年度は50周年記念事業として、24時間テレビとコラボ開催され、令和5年度は6年ぶりに、豊山グラウンドで盛大に開催された。これまでにないほど非常に多くの方が来場され、大盛況であったと感じている。

一方で「とよやまDEないと」の現状を考えると実行委員メンバーの減少やメンバーの固定化、コロナ禍に伴う感染症対策や熱中症対策など、新たな課題への対応も必要となっている。

また、来場者が大変多いのは喜ばしいことであるが、それに伴って、駐輪場整理や来場者の安全確保などが大掛かりとなり、実行委員会メンバーや町職員の負担が大きくなっているのではないかと懸念している。



「とよやまDEないと」での盆踊り

「とよやまDEないと」を開催する意義、実行委員会方式を採用している理由。

**A** 企画調整部長  
「とよやまDEないと」は、町民の皆さまが家族で楽しめる夏の一大イベントである。6年ぶりに豊山グラウンドで開催し、多くの方にご来場いただいた。人と人とのつながりや交流が減りつつある中、子どもから大人まで、さまざまな世代や立場の方が、一緒にイベントを企画、運営し、参加する「とよやまDEないと」は、町民同士の交流や協力を深める機会になっているものと考えている。

また、その運営は、住民主体による実行委員会方式で行っている。これは、町民の皆さまが自主性や創造性を発揮し、町全体で「とよやまDEないと」を盛り上げようというものである。今後とも創意工夫を加えながら、町民の皆さまの地域に対する誇りや愛着などを育むことにつなげていきたいと考えている。

**Q** 実行委員会は現在の体制で20年以上が経過している。新たな課題も生じていることから、体制の見直しの時期に来ているのではないかと考えるが、いかがか。

**A** 企画調整部長  
実行委員会方式は平成14年から20年以上にわたって続けてきたものであり「とよやまDEないと」の特徴や魅力を形成する重要な要素であると考えている。

しかしながら、メンバーの減少や固定化、感染症対策や熱中症対策など新たな課題があることも事実である。これらの課題に対応するために、実行委員会体制の強化という形で見直しを図ってまいりたいと考えている。具体的には、団体や企業などからの新たなメンバーの参画、地域の団体やボランティア募集などの検討を行う。

これらの方法や手段により特定のメンバーや職員に過度な負担がかかることなく、夏まつりを運営する側も夏まつりに参加される方も楽しむことができるようなイベントにしていく。

